

## 重点的に取り組む主な経営課題

## 経営課題6

## 【大きな公共を担う活力ある地域社会づくり】

めざすべき将来像（最終的なめざす状態）＜概ね10～20年を念頭に設定＞	
多様な主体の協働により全ての地域において課題が共有され、解決に向けて取り組まれている状態	
現状（課題設定の根拠となる現状・データ）	
計 画	【天王寺区における住宅の建て方】(平成25年 住宅・土地統計調査) 集合住宅の割合 平成15年：76.1%⇒平成25年：85.3%
	【天王寺区における単身世帯率】(平成22年 国勢調査) 平成7年：39.4%⇒平成22年：48.5%
	【天王寺区における高齢単身世帯率】(平成22年 国勢調査) 平成7年：7.5%⇒平成22年：10.3%
	【平成27年度区民モニター】 ・住んでいる地域で日頃から「声かけ」、「見守り」、「助け合い」などが行われていると感じる区民の割合 59.7% ・おおむね小学校区を範囲として、地域団体やNPO、企業など地域のまちづくりに関するいろんな団体が集まり、地域課題の解決やまちづくりに取り組んでいくための仕組みである「地域活動協議会」を形成しているが、その「地域活動協議会」を知っている区民の割合 50.4% ・住んでいる地域の地域活動協議会が、地域課題の解決やまちづくりに自立的に取り組んでいると感じる区民の割合（地域活動協議会を知っている人に限定）84.9% ・小学校区を越えた範囲で、地域活動協議会をはじめ地域団体や市民、NPO、企業などいろんな方々の連携・協働によりまちづくりが進められていると感じている区民の割合 25.4% ・地域公共人材が活躍していると感じる区民の割合（地域活動に参加している人に限定）21.9%
	【平成27年度地域団体へのアンケート】 ・「中間支援組織」から団体の課題やニーズを的確に把握してもらい、それにあった支援を受けることができていると感じる地域活動協議会に参画している団体（構成団体）の割合 92.3%
要因分析（現状・データから導かれる分析結果）＜めざすべき将来像と現状に差が生じる要因＞	
地域活動協議会を知っている区民(モニター)のうち、8割を超える区民(モニター)が、多様な活動主体により構成された地域活動協議会において、地域課題の解決やまちづくりに取り組まれていると感じており、めざす将来像に近づいているが、その地域活動協議会を知っている区民(モニター)の割合は全体の5割となっているため、地域活動協議会に関する情報発信が十分でないと考えられる。	
課題＜上記要因を解消するために必要なこと＞	
豊かなコミュニティを築き、より多くの地域住民が地域に関心を持ち、地域課題の解決に向けて協働して活動し、活力ある地域社会をめざす地域住民の取組への積極的な支援と情報発信の更なる強化。	

自 己 評 価	戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括
	・活力ある地域社会づくりに向け、区広報紙やホームページによる地域活動とその担い手及び地域団体の紹介、中間支援組織を活用した地域への各種支援により、地域住民の地域への関心を高めることや地域の自立的な運営及び情報発信などについて、一定寄与することができたと認識している。 ・しかしながら、様々な活動主体の連携・協働による活動の推進や地域公共人材(ファシリテーション能力やコーディネート力などを持った人材)が活躍していると感じている区民の割合は低迷しており、平成29年度までの目標数値との乖離が大きい。少しでも乖離を埋めるように、様々な活動主体の連携・協働による活動事例について掘り下げた広報を行って行くなどの取組みの見直しが必要である。

めざす成果及び戦略 6-1 【豊かなコミュニティの実現】

計画	めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定> 身近な地域の中で、「声かけ」、「見守り」、「助け合い」、「支え合い」を実感できる状態	戦略<中期的な取組の方向性> 身近な地域における「声かけ」「見守り」「助け合い」「支え合い」の大切さを伝えるとともに、人と人とのつながりづくりを促進する。
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標> 身近な地域の中で、「声かけ」、「見守り」、「助け合い」、「支え合い」を実感している区民の割合 平成29年度までに 65%以上	

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	イ	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須 地域活動参加者のアンケート数値は高いものの、区民モニターの数値は低く、前年度比減となっており、地域における住民交流の各種活動が行なわれている事の認知向上が必要である。	
	アウトカムの達成状況	前年度	個別	全体	
	身近な地域の中で、「声かけ」、「見守り」、「助け合い」、「支え合い」を実感している区民の割合46.3%	59.7%	B	B	
	A: 順調 B: 順調でない				今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須 これまでの区広報紙やホームページによる情報発信に加え、住民の交流につながる各種地域活動が行われていることを、より住まいに身近な場所でのつながりづくりの大切さを視覚的に訴えるため、中間支援組織を活用した地域、事業単位での地域活動の掲示板への広報などの充実を行う。
戦略の進捗状況	a	a: 順調 b: 順調でない			

具体的取組 6-1-1 【人と人とのつながりづくりの促進】★

26決算額	—	円	27予算額	—	円	28予算額	—	円
-------	---	---	-------	---	---	-------	---	---

計画	取組内容 ・区広報紙やホームページ等の媒体を活用し、地域における見守り活動等の取組の紹介を通して、身近な地域でのつながりの大切さを伝える。 区広報紙 随時 ・区の財政的支援を受けて行われるイベント・活動において、参加者や運営スタッフのつながりの大切さを伝えるとともに、その効果(地域住民同士のつながりの拡大)を測るためのアンケート調査等を実施する。 アンケート実施 9地域	業績目標 (中間アウトカム) 地域活動時に実施するアンケートで、ふれあいまつりなどの地域のイベントが地域コミュニティづくりにつながると感じた人の割合 80%以上 【撤退基準】 60%未満の場合には事業を再構築する。
		前年度までの実績 平成27年度 ・区広報紙による情報発信 ・アンケート実施 9地域 ※達成状況 90.6% 平成26年度 ・区広報紙による情報発信 ・アンケート実施 9地域 ※達成状況 84.3% 平成25年度 ・区広報紙による情報発信 ・アンケート実施 9地域 ※達成状況 83.6%

中間振り返り	業績目標の達成状況	① (i)	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成		—
	戦略に対する取組の有効性	—	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)

自己評価	取組実績 区広報紙での紹介:11回 アンケート実施:9地域	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 地域活動への参加者は、地域イベントがつながりづくりに役立っていることや、地域での様々な活動が行なわれていることを認知されていると思われるが、参加されていない方には、関心が薄いことやその情報が届いていないと考えられるため、広報の充実が必要。
	業績目標の達成状況 地域活動時に実施するアンケートで、ふれあいまつりなどの地域イベントが地域コミュニティづくりにつながると感じた人の割合 89.5%	① (i)
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 より住まいに身近な場所で、つながりづくりの大切さを視覚的に訴えるため、中間支援組織を活用するなどして、地域、事業単位の地域活動の掲示板への広報の充実支援を行う。
戦略に対する取組の有効性	○	○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)

めざす成果及び戦略 6-2 【多様な主体の協働(マルチパートナーシップ)の実現】

計画	めざす状態<概ね3~5年を念頭に設定>	戦略<中期的な取組の方向性>
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標>	

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況		前年度 個別 全体	校区等地域を越えたまちづくり活動が、様々な活動主体による連携・協働により進められていると感じている区民の割合が低く、様々な活動主体の認知度の向上が必要である。
	戦略の進捗状況	b	a:順調 b:順調でない	今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須
				これまで、区広報紙によりまちづくりに関する各種地域活動の紹介を行っているが、各種活動を担っている地域団体などにも目を向け、区広報による紹介を行なう。

具体的取組 6-2-1 【地域活動協議会を核とした自律した地域運営の支援】★

26決算額 16,053千円 27予算額 16,913千円 28予算額 16,599千円

計画	取組内容	業績目標(中間アウトカム)
	取組実績	課題

中間振り返り	業績目標の達成状況	① (i)	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	戦略に対する取組の有効性	—	—

自己評価	取組実績	課題
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	戦略に対する取組の有効性	○

具体的取組6-2-2

【校区等地域を越えた多様な主体のネットワーク拡充の支援】

26決算額 — 円 27予算額 — 円 28予算額 — 円

計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）
	・校区等地域を越えたまちづくりに関する活動を区ホームページなどで紹介する。 ・区ホームページに、活動主体の情報や検索するサイトを掲載する。 情報や検索サイトの掲載 随時	校区等地域を越えたまちづくりに関する活動の紹介 3件 【撤退基準】 1件以下の場合は事業を再構築する
		前年度までの実績 平成27年度 活動の紹介 3件 平成25・26年度 区ホームページに区内のNPO法人を検索するページを掲載

中間振り返り	業績目標の達成状況	① (i)	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成		—
	戦略に対する取組の有効性	—	○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	・校区等地域を越えたまちづくりに関する活動を区ホームページや印刷物により紹介 ・区ホームページに、活動主体の情報や検索するサイトを掲載	—
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	校区等地域を越えたまちづくりに関する活動の紹介 3件	① (i)
①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成		—
戦略に対する取組の有効性	○	○: 有効 ×: 有効でないため見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)

めざす成果及び戦略 6-3 【地域資源の循環】

計画	めざす状態<概ね3～5年間で念頭に設定> ・地域や社会の課題の解決やニーズへの対応に向けた取組がビジネス手法により継続的に展開されている状態 ・コミュニティ・ビジネスやソーシャル・ビジネスの意義やメリットが理解され、本市の事務事業が社会的ビジネス化している状態	戦略<中期的な取組の方向性> ・コミュニティ・ビジネスやソーシャル・ビジネスの意義やメリットを伝えるとともに、地域におけるビジネス化の取組を支援する。 ・区で実施している事業で、既に社会的ビジネス化に取り組んでいる事業が、継続して展開できるようする。
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標> ・地域社会における課題の解決やニーズへの対応に向け住民が新たに取り組む継続的な活動(コミュニティ・ビジネス、ソーシャル・ビジネス)が創出された件数 平成29年度までに 1件以上 ・社会的ビジネス効果が見込まれる事務事業件数 平成29年度までに 1件以上	

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	課題	※有効性が「イ」の場合は必須	
	アウトカムの達成状況			前年度	個別	全体
	未測定(情報提供の場でのコミュニティ・ビジネスやソーシャル・ビジネスの意義やメリットを理解したと感じた地域の割合 87.5%)		62.5%	A		A
	社会的ビジネス効果が見込まれる事務事業件数 5件	5件	A			
		A:順調 B:順調でない			今後の対応方向	※有効性が「イ」の場合は必須
戦略の進捗状況	a	a:順調 b:順調でない				

具体的取組6-3-1 【本市事務事業の社会的ビジネス化の推進】

26決算額 — 円 27予算額 — 円 28予算額 — 円

計画	取組内容 ・既に社会的ビジネス化を行っている事務事業が継続して展開できるよう、受託者の提案や相談などを受け入れ検討する。 随時 ・区広報紙やホームページ等の媒体を活用し、天王寺区での社会的ビジネス化の具体例を紹介する。 具体例のホームページ掲載 随時	業績目標(中間アウトカム) 継続実施 5件 【撤退基準】 2件以下の場合には事業内容を再構築する。
		前年度までの実績 平成27年度 寺田町公園清掃にかかる業務の社会的ビジネス化 平成26年度 上汐公園清掃、東高津公園清掃にかかる業務の社会的ビジネス化 平成25年度 五条公園清掃、寺田町駅前駐輪啓発にかかる業務の社会的ビジネス化

中間振り返り	業績目標の達成状況	① (i)	課題と改善策	※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成			
	戦略に対する取組の有効性	○	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)	

自己評価	取組実績 ・社会的ビジネス化を行っている事務事業を、検証のうえ継続して実施:5件 ・天王寺区での社会的ビジネス化の具体例をホームページで紹介	課題	※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	業績目標の達成状況 取組実績どおり	① (i)	改善策	※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成			
	戦略に対する取組の有効性	○	○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)	

めざす成果及び戦略 6-4 【地域公共人材の充実と中間支援機能の活用】

計画	めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定> ・地域の活動において、地域公共人材や中間支援組織が活躍している状態 ・多様な活動主体が課題やニーズに応じた支援が中間支援組織の活用により行われている状態	戦略<中期的な取組の方向性> ・さまざまな活動主体の調整や話し合いを促す人材を発掘するとともに、活用の機会を構築する。 ・地域活動協議会の自立的な地域運営の推進にむけ、さまざまな支援を中間支援組織を活用して実施する。
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標> ・地域の活動において、ファシリテーション能力やコーディネート力などを持った人材が活躍していると感じている区民(地域活動に参加している人に限定)の割合 平成29年度までに 50%以上 ・多様な活動主体が課題やニーズに応じて中間支援組織から支援を受けていると感じている活動主体の割合 平成29年度までに 90%以上	

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	イ	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須 各地域で、ファシリテーション能力やコーディネート力などを有する人材は育成されているが、まだ広く認知されていないため、広報の強化が必要。	
	アウトカムの達成状況		前年度 個別 全体	今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須 区広報紙での地域公共人材などの紹介や、中間支援組織を活用した広報支援の充実により地域で活動している人材や地域活動の認知度を高める。	
	・ファシリテーション能力やコーディネート力などを持った人材が活躍していると感じている区民(地域活動に参加している人に限定)の割合 6.4%		21.9%	B	B
	・多様な活動主体が中間支援組織から支援を受けていると感じている活動主体の割合 80.9%		92.3%	B	
			A:順調 B:順調でない		
戦略の進捗状況	a	a:順調 b:順調でない			

具体的取組6-4-1 【地域公共人材の充実と活用の促進】

26決算額 248千円 27予算額 307千円 28予算額 — 円

計画	取組内容	業績目標(中間アウトカム) 新たな活動の企画検討の場等で地域公共人材を活用した地域活動協議会1協議会以上 【撤退基準】 0の場合は事業を再構築する。
	・区ホームページに、地域公共人材に関する情報や検索するサイトを掲載するとともに、中間支援組織を活用し、地域活動協議会に対して地域公共人材の役割等を紹介する。 随時	前年度までの実績 平成27年度 提案企画・取組の事業化 2事業 平成26年度 提案企画・取組の事業化 2事業 平成25年度 提案企画・取組の事業化 2事業

中間振り返り	業績目標の達成状況	① (i)	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成		—
	戦略に対する取組の有効性	—	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 各地域参加の全体交流会の場で地域公共人材を活用し、その役割は一定理解されているが、地域単位での活用が必要。
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 地域の取組み課題に対し、活用できる地域公共人材の紹介を中間支援組織を通じて促す。また、区広報紙でも地域公共人材の紹介を行ない認知度を高める。
	地域公共人材を活用した地域活動協議会 8地域参加の全体交流会の場で地域公共人材を活用	① (i)
①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成		
戦略に対する取組の有効性	○	○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)

具体的取組6-4-2

【中間支援組織の活用】★

26決算額 13,947千円 | 27予算額 14,132千円 | 28予算額 13,869千円

計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）
	中間支援組織が、各地域活動協議会の状況を把握し、また要望等をふまえ、具体的活動を支援する。 地域活動協議会の具体的活動の支援 9地域	中間支援組織による支援が役立ったと感じる地域活動協議会の割合 85%以上 【撤退基準】 40%未満の場合は事業を再構築する。
		前年度までの実績
	平成27年度 地域活動協議会運営支援 8地域 ※達成状況 87.5%	
	平成26年度 地域活動協議会運営支援 8地域 ※達成状況 80.8%	
	平成25年度 地域活動協議会運営支援 9地域	

中間振り返り	業績目標の達成状況	① (i)	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成		—
	戦略に対する取組の有効性	—	○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	地域活動協議会の具体的活動の支援: 9地域	—	
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	中間支援組織による支援が役立ったと感じる地域活動協議会の割合 100%	① (i)	
	①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成	—	
	戦略に対する取組の有効性	○	○: 有効 ×: 有効でないため見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)